

# テンヤロッド進化の証 紅牙テンヤゲームMX



▼メタルトップ ▼メガトップ ▼チューブラートップ



●すでに全国規模で普及しているテンヤゲームでは、地域や釣り場ごとの特性や釣り方だけでなく、釣り人それぞれのスタイルによってニーズが異なってくる。紅牙テンヤゲームMXは現在の釣り方に合った調子だけでなく、カーボンソリッド、メタルトップ、チューブラートップという3種の穂先を用意。加えて、2種のベイトモデルを合わせた全12アイテムのラインナップで、どんなニーズにも対応可能としている。

穂先部分にはAGSガイド、X-45、Vジョイントなどを装備。感度と操作性に直結する軽量化も実現している。スピニングリールタイプには軽量エアラッシュシート、ベイトモデルには軽量エアセンサーシートで強度とフィット感、さらなる軽量化に直結している。発売中。

アイテム	全長 (m)	継数 (本)	仕舞 (cm)	自重 (g)	先径/元径 (mm)	テンヤ 負荷(号)	カーボン 有率(%)	メーカー 希望 本体価格(円)
M-240・R	2.4	2	124	98	0.8/11.1	1.5~12	96	34,800
MH-240・R	2.4	2	124	101	0.9/11.1	2~15	96	35,800
MH-255・R	2.55	2	132	110	0.9/11.1	2~15	91	37,400
H-235・R	2.35	2	122	108	1.2/11.1	3~20	96	37,000
H-235MT・R	2.35	2	122	116	0.6/11.1	2~20	95	38,800
MH-235MT・R	2.35	2	122	110	0.6/10.8	1.5~15	91	37,400
H/M-225・R	2.25	2	117	112	1.2/10.0	3~20	94	35,500
H/MH-225・R	2.25	2	117	95	1.3/10.4	3~20	95	36,500
XH-230・R	2.3	2	120	110	1.4/11.1	4~30	94	37,400
MH-230B・R	2.3	2	120	108	0.9/10.8	2~15	95	35,800
H-230B・R	2.3	2	120	108	1.2/10.8	3~20	95	37,000
H-230MTB・R	2.3	2	120	112	0.6/10.8	2~20	95	37,400

## ティエラIC

●ライトゲームに最適な手巻きリール。液晶カウンター付きとしては史上最軽量の165グラム、ICカウンターには10メートルごとにアラームを知らせるデブスアラームを初搭載。サイオン製フレーム、ATDドラッグ、引き出しクリックなどの機能も満載。100XH/XHLに浅溝スプールの105XH/105XHLの計4アイテムを用意。メーカー希望本体価格4万5000円。3月発売予定



## ルピナス

●サイオン製モノコックボディ、マグネーロード、タフデジアなどテンヤゲームに最適な機能満載。一つテンヤに最適なモデルはLT2500/LT2500XH。発売中。メーカー希望本体価格3万8900円



▲ベイトモデルのH-230Bでアタリをとらえたが……  
▼深場では紅牙遊動テンヤ+SSの20号を使用した



## 紅牙遊動テンヤSSラトルダンス

▶キャストしても絡みにくいポート形状で音でアピールして誘う新感覚の遊動テンヤ。5、6、8、12、15号。カラーは右からケイムラ緑/金、夜光キャンディ、ケイムラ赤/金、ケイムラオレンジ/金。メーカー希望本体価格560~690円



▼当日大島さんが使用していたハリは「紅牙遊動テンヤ替え針SS+エビラバ」。ネクタイとスカートが付いていてタイラバのようにアピールする。カラーは5色。メーカー希望本体価格700円



ながらの釣りはしばらくの辛抱を強いられる。船は60~80メートルダチのポイントも丹念に探っていく。口火を切ったのは大島さんだ。うまく合わせも決まり、手慣れたヤリトリで1キログラムをタモに入れた。「アタリは想像以上に小さかったけれど、メタルトップの感度が物を言いました」

80メートルもの深場で、活性の低いマダイのアタリを取るには感度が優先される。大島さんの竿選びがズバリ当たったというわけだ。一方の福田さんはメガトップ。感度だけでなく、ステイ時の食い込みのよさを優先しての竿選びだ。大島さんに負けじと0.5キロ、その後0.7キロの2枚を追釣してみせる。「どちらかといえば遊動テンヤにマッチしたセッティング、アタリを明確に出してくれそうです」

2人そろって型を見たあたりは次つぎと竿を替えながら、東京湾のテンヤゲームを突き詰めていく。

終盤、ベイトタイプのH-230Bにこれも新製品「ティエラIC100X・H・L」を使用した福田さんが良型を掛けたものの、惜しくもハリ外れでバラシ。

「ベイトテンヤもアリですね」と天いに有効性を認めていた。15時に納竿。終日吹き荒れた風、時おりパラつく雨という悪条件ではあったが、2人も東京湾のテンヤゲームを十分満喫できたようだ。

★メガトップのMH-240でマダイの引きを堪能する福田さん

★テンヤをステイさせて食わせた一枚



# 福田豊起、大島匠 進化するテンヤロッド 紅牙テンヤゲームで 東京湾のマダイに初挑戦

THE FRONT OF OFF SHORE FISHING vol.55

# テンヤゲーム最前線

★リフト&フォールで底付近を探る

## at 東京湾奥金沢八景出船

★目感度、手感度に優れたメタルトップのH-235MTで1キロ級をキヤッチした大島さん



▼釣り場は観音崎沖の水深40~80メートル



◀サクサスフックならマダイの硬い口も楽しく貫通

◀紅牙遊動テンヤ+SSやラトルダンスなどを持参

●マダイ釣法の一つとして今や全国に広がりつつあるテンヤゲーム。発祥の関東では外房や常磐、東京湾でも大人気だ。今回は福田豊起、大島匠の両名が最新テンヤロッド「紅牙テンヤゲームMX」を持参して東京湾へ釣行。意外にも2人はほぼ初めての挑戦だという。

2日前にブラクテイス釣行を済ませてきた福田さんは、「深場メイン、テンヤは15~20号を使用するとなればアイテムはこの5本でしょうか」

紅牙テンヤゲームMXは実に12アイテムものラインナップ。福田さんが持参したのはH-235MT(メタルトップ)、MH-240、MH-255(メガトップ)、XH-230(チューブラートップ)、そしてベイトリールタイプのH-230Bの5本。どちらかといえば硬めのラインナップだ。

乗船したのは周年テンヤ&タイラバが楽しめる東京湾奥金沢八景の弁天屋。この日の釣り客はタイラバ、テンヤほぼ半々という布陣だった。

7時15分に出船し、まず狙ったのが観音崎沖の40メートルダチ。福田さんはMH-240、大島さんはH-235MT、リールはテンヤゲームに最適な新製品「ルピナス」、それぞれLT2500XH、LT2500を使用。仕掛けは「紅牙遊動テンヤSSラトルダンス」15号にエビエサを付けて第1投となる。

「東京湾は底中心のタナをフォールとステイで釣るのが基本のようです」と大島さんは福田さんのアドバイスを受けながらの釣りとなる。

水温低下、強い北東風を受け

乗船したのは周年テンヤ&タイラバが楽しめる東京湾奥金沢八景の弁天屋。この日の釣り客はタイラバ、テンヤほぼ半々という布陣だった。

7時15分に出船し、まず狙ったのが観音崎沖の40メートルダチ。福田さんはMH-240、大島さんはH-235MT、リールはテンヤゲームに最適な新製品「ルピナス」、それぞれLT2500XH、LT2500を使用。仕掛けは「紅牙遊動テンヤSSラトルダンス」15号にエビエサを付けて第1投となる。

「東京湾は底中心のタナをフォールとステイで釣るのが基本のようです」と大島さんは福田さんのアドバイスを受けながらの釣りとなる。